

1 雨水の流れの特性と洪水の要因

- ・高屋地区は盆地で、雨水は、龍王山方面(西側)から、高美が丘方面(北側)から、白鳥山(南側)から日名条地区に流れ込む地形となっている。
- ・龍王山方面からの雨水は、入野川・杵原川を経て入野川へ流れ込む。
- ・高美が丘一帯からの雨水は、正原川・杵原川から入野川へ流れ込む。一部は萩原川により直接小谷方向の入野川に流れる。
- ・白鳥山からの雨水は、入野川へ流れ込む。
- ・入野川は、小谷小学校、入野駅を経て、河内の沼田川へ合流する。
- ・大雨の場合、小谷小学校付近から入野駅付近の入野川の川幅が狭く流れが悪くなり、また、上流の沼田川が一杯であれば入野川から流水できなくなり、その結果、中島付近に集合する杵原川・正原川・入野川が溢れて日名条地区一帯が洪水となる可能性がある。

2 平地と台上の違いによる大雨災害の区分

- ・平地は洪水の可能性
正原川・杵原川・入野川一帯、県立学校付近の土地は、JR線の高さよりも土地が低く、入野川等が氾濫した場合、容易に浸水する。
- ・台上は竹林等で土砂災害の可能性
大雨による洪水の可能性は低いが、大雨による土砂崩れの可能性がある。土砂災害警戒区域が2か所ある。

3 地震災害

- ・住宅地であり、旧家と新築戸建に区分される。
- ・旧家は、瓦屋根が多く一般的に地震に弱い。
耐震建築基準の調査が必要(昭和56年以降は新)
- ・土地の風化が進んでいたり、多くの水分を含み緩んでいた場合、大地震により土砂崩れを起こす場合がある。
- ・新築であっても熊本地震の教訓にあるように、新建築基準でも倒壊する可能性があるので注意。
- ・水田を埋め立てた土地であれば、大地震の場合、マンホールが浮き上がるなどの「液状化現象」の可能性があり注意が必要。

【参考 かけ崩れの前兆】

- ・斜面に亀裂ができる
- ・小石が斜面からぱらぱらと落ち出す
- ・斜面から異様な音、地鳴りが聞こえる
- ・普段澄んでいる湧き水が濁ってきた、水の吹き出しがみられる
- ・湧き水の急激な増加、あるいは減少・枯渇が認められる

地形などの特性	災害の弱点
正原川、杵原川、入野川、胡麻川は小河川であり、排水力が乏しい。	集中豪雨の際には河川が溢れ、洪水となる可能性が高い。 河川の交点は水流が合流し、溢れやすい。 胡麻川と正原川の交点、正原川と杵原川の交点、杵原川と入野川の交点
河川の護岸・堤防が脆弱	堤防はほとんど機能しておらず、越水しやすい。 ガードパイプがない場合、誤って落ちる可能性がある。
河川と連動した排水路や側溝がある。	清掃しないで汚泥等があると流水を妨げ、洪水の原因になる。
4・7・9・10・11班から県立高校一帯は低地（11班は高屋中央保育所よりも低地） 低地の田畑を埋めて宅地化した可能性？	洪水被害を受けやすい。 4班・11班は、杵原川と入野川を注意 7班・9班・10班は、正原川と杵原川を注意
責船神社一帯から中島白市線沿い及び郷地区方向は標高がやや高い。竹藪が多く、土壌が弱い可能性？	洪水の可能性はやや低い、土砂災害の可能性はある。
ため池が存在している。（11班の近く）	ため池の整備が不良の場合、法面や土手が崩壊し溢れる可能性がある。
急傾斜地崩壊危険箇所（2か所） ・11班地区、ため池の北側 ・日名条集会所南側	大雨の際は、崩壊する可能性が高いので、早めの避難が必要 がけ崩れの兆候を知ることが必要（ハザードマップP2）
過去（H11.6.29）の浸水実績区域が付近にある。	高屋交番～ショージ～入野川沿い～中国電力電柱保管場所
建物は、赤色瓦屋根の旧家と最近の新築が混在	屋根瓦の家は、一般的に地震に弱い。（倒壊の可能性） 新築でも、地震でアパートの1階がつぶれる例もある。
所々にブロック塀がある。 プロパンガスボンベ、自販機がある。	地震の際、鉄筋なしの塀や土塀は特に危険。ボンベ・自販機は固定。 地震で塀などが倒れ下敷きになり、死亡した例もあり。
一部地域の建物が密集している。	火災発生の場合、広範囲に延焼する可能性がある。 （自宅周辺に可燃物を置かない。）
道路が狭く、非常に入り組んでいる。	要援護者の避難に影響あり。車での避難は危険。消防車進入不能
避難所は、高屋西小学校、高屋中学校	杵原川と入野川を越えていく必要がある。早めの判断が必要 場合によっては高美が丘方向への避難所も考慮

まちあるき防災チェックリスト（日名条自治会）

災 害	まちあるき防災チェックリスト（日名条自治会）
河川洪水	河川の護岸、堤防に損傷はないか？河床に堆積砂や雑草等はないか？
	橋脚の間隔が狭く、流木などが引っかかりやすい橋などはないか？
	過去に氾濫した箇所はないか？ 周知しているか？
	ガードパイプなどの柵や欄のない水路や側溝はないか？
	浸水時、道路との境界が分かりにくい水路や側溝はないか？
	土地が低く浸水しやすい箇所はないか？
	側溝や水路に雑草が繁茂し、ゴミが溜まっていないか？
土砂災害	がけの中間や頂上に割れ目がないか？
	がけの下に大小の石が落ちていないか？
	急傾斜地の石垣や擁壁などにひび割れ、傾きなどの損傷がないか？
地 震	ベランダなどから落下物の恐れのあるマンション・住居がないか？
	昭和56年以前に建築された（新耐震基準を満たさない）建物がないか？
	ガスボンベ・自販機などが固定されているか？
	ブロック塀にひび割れ、欠損、剥離などの損傷がないか？
火 災	道が狭く緊急車両の近づけない地域がないか？
	野焼きや焚火をする習慣がないか？
	家屋の周囲に燃えやすいものがないか？